

2022 October

Vol.82

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>
〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代)



【タイトル】 秋の気配 【撮影者】 鳥居 寛成

■ CONTENTS ■

■ 新任医師紹介……………	2	■ ひこばえ通信 Vol.8……………	9
■ 消化器内科紹介……………	2	■ 患者図書室から……………	10
■ 職場紹介【地域医療連携室】……………	4	■ 栄養士のつぶやき④……………	11
■ 電子カルテ更新について……………	6	■ 地域医療連携室実績報告……………	11
■ 「新型コロナウイルス感染症対策」のラウンド……………	8	■ 外来診療担当医表……………	12

病院理念「患者さんと共に」

■ 基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■ 「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター
「にっしーくん」

新任医師紹介

整形外科 **中 條 太 郎**

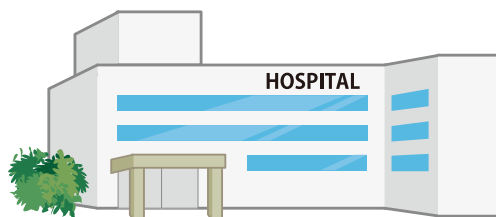
■出身地：広島県

■出身高校：広島学院

■出身大学：旭川医科大学

■趣味：ビール

■自己PR：今年尿酸値が基準値超えました。



消化器内科 紹介

消化器内科 **山 中 秀 彦**

【はじめに】

当院の消化器内科は、主に消化管（食道、胃、小腸、大腸）の病気を診ていますが、胆のう・膵臓の病気は肝臓内科と一緒に診ています（肝臓の病気は肝臓内科が担当します）。

消化管の病気は腹痛、吐き気・おう吐、下痢・便秘、発熱を伴う・伴わない、などが主な症状です。診察の時に詳しくお聞きすることで、診断へ向けて考えを整理していきます。診断を進めていくために、血液検査、便検査、腹部エコー検査、腹部CT検査、上部消化管内視鏡検査（いわゆる胃カメラ）、大腸内視鏡検査、などを適宜組み合わせながら行います。これらの検査は絶飲食で行うことが多く、受診に際しては可能な範囲で食事をしないで来院することをお勧めします。

症状、病気としては日常的でなじみのあるものが多いのですが、診断・治療には専門性が求められます。当科では藤堂祐子医長と私で、地域医療に貢献できるよう日々診療にあたっています。

【診療実績（年間）】

- 上部消化管内視鏡検査……………約1200-1400件
- 大腸内視鏡検査……………約700-850件
- 内視鏡的大腸ポリープ切除術…約150-200件
- 内視鏡的胃腫瘍切除術……………約2-8件
- 内視鏡的止血術……………約10-30件
- 経費内視鏡的胃ろう造設術……約10-30件
- 胃ろうチューブ交換……………約30-40件



【受診時の主訴と病気の関連】

(1)主に腹痛

- 胃潰瘍（胃粘膜がただれて深い傷となる）：上腹部。食後の痛みが多い
- 十二指腸潰瘍：お腹の右上が中心。空腹時や夜間の痛みが多い。背部痛も？
- 胆石：お腹の右上を中心とする強い痛み。痛みが強いとお腹全体に感じることもある。石（結石）が移動するだけの時は一時的な痛みのあることがあるが、感染が合併すると発熱を伴い、入院が必要で緊急手術を要することもある。
- 総胆管結石：上腹部。突き上げるような痛み？感染が合併すると発熱を伴い、入院が必要で緊急手術

を要することもある。

- 膵炎：上腹部・背部痛。発熱を伴うこともある。アルコール多飲や胆石に合併することがある。
- 腸閉塞：腸が詰まることで排便・排ガスがなくなる、または減ってお腹が張る。
- 大腸がん：病変部位によって痛みの場所も変わるが、痛みが単独で起きることは少なく、腸閉塞に至って痛むことが多い。
- 胃がん：上腹部。強い痛みが単独で起きることは少なく、吐き気・おう吐、不快感、貧血症状、黒色便などを伴うことが多い。
- 機能性ディスぺプシア：心窩部痛（みぞおち辺りの痛み）、心窩部灼熱感（みぞおち辺りの焼ける感じ）、食後の胃もたれ、早期飽満感（食事開始後すぐに胃が充満した感じとなり、食事を最後まで摂取できない状態）

(2)主に下痢

- 感染性腸炎：腹痛、吐き気・おう吐、発熱、血便など他の症状を伴うことが多い。古い食事・食材、常温保存、味の異常、などに思い当たることがないか？
- 大腸がん（主に病変が肛門に近い場合）：がんによって腸の中が狭くなると、柔らかい便や泥状・水様便しか通らないことがある。必ずしも出血を伴わない。
- 膠原繊維性大腸炎（collagenous colitis）：薬剤性が多く、特にPPIと呼ばれる酸分泌抑制剤（胃十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、血液をさらさらにする薬による胃腸障害を予防する目的、などに対してよく使われる）を飲んでいる方に多い。
- 潰瘍性大腸炎：繰り返す下痢、粘血便。症状が強いと腹痛や発熱を伴う。20代を中心に発病する。炎症がおさまると逆に便秘になることもある。
- クローン病：腹痛、下痢が主症状。10-20代を中心に発病。口から肛門までどこでも病変ができるが、小腸>大腸。長引いたり重症化すると栄養障害がおこる。
- 過敏性腸症候群：腹痛、腹部不快感あるいは腹部膨満感がある。便通異常（下痢、便秘あるいは交替性便通異常）がある。

(3)主に便秘

- 機能性便秘：
 1. 弛緩性便秘：大腸を動かす筋肉が緩む。高齢者や生活習慣の乱れなどに多い。刺激性下剤（センナや大黄やアロエなどの生薬、ピコスルファートなどの下剤）を日常飲んでいると悪化する。
 2. 痙攣性便秘：大腸の動き（ぜん動）がちぐはぐになって起きる。ストレスの影響？
 3. 直腸性便秘：便をだしたいという感覚（便意）があるのに習慣的にトイレを我慢していると起こりやすい。温水洗浄便座の影響も言われている。
- 器質性便秘：大腸がん、お腹の手術後、潰瘍性大腸炎やクローン病、などで起きる。
- 症候性便秘：糖尿病の合併症や甲状腺機能低下症など。
- 薬剤性便秘：抗うつ薬、抗コリン薬（ぜん息や頻尿、パーキンソン病などの薬）、せき止めなど。
- 大腸がん：病変が肛門に（比較的）近い場合に起こりやすい。「下痢」の項で出たように、下痢と勘違いされる場合があるので要注意。

【内視鏡検査室・準備室の改修・改装】

2022年5,6月に内視鏡検査室・準備室の改修・改装を行いました。上部消化管内視鏡検査の準備室は2席ご用意し、のどや鼻腔の麻酔がとどこおりなくできるようになりました。また大腸内視鏡検査の準備室は、衝立でコロナ感染対策を行い、トイレはプライバシー保護の観点からドアを設置しました。

職場紹介 地域医療連携室

地域医療連携室 小田 梨香

地域医療連携室とは…

患者さんがスムーズに医療機関へ受診・入院できるように、また医療機関から退院・転院することができるように、医療機関、介護施設をはじめ、行政や福祉に関わる多くの施設を繋ぐ役割を担います。

当院は地域医療を支える地域医療支援病院また在宅療養後方支援病院としての役割を担っております。

少子高齢社会が著しく進展することで、要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域や自宅で自分らしい生活を続けられるよう「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」が一体的に提供されるよう地域包括ケアシステムが構築されてきました。当院がある大竹市でも大竹市多職種連携協議会が発足し市内・近郊の多職種の方々と、顔の見える連携を図り地域の特性に応じた体制作りを行っています。

また、院外連携を成功させるためには、院内連携が欠かせません。地域医療連携室は、院内連携の推進部署としての役割もあり院内の多職種との連携を行っています。

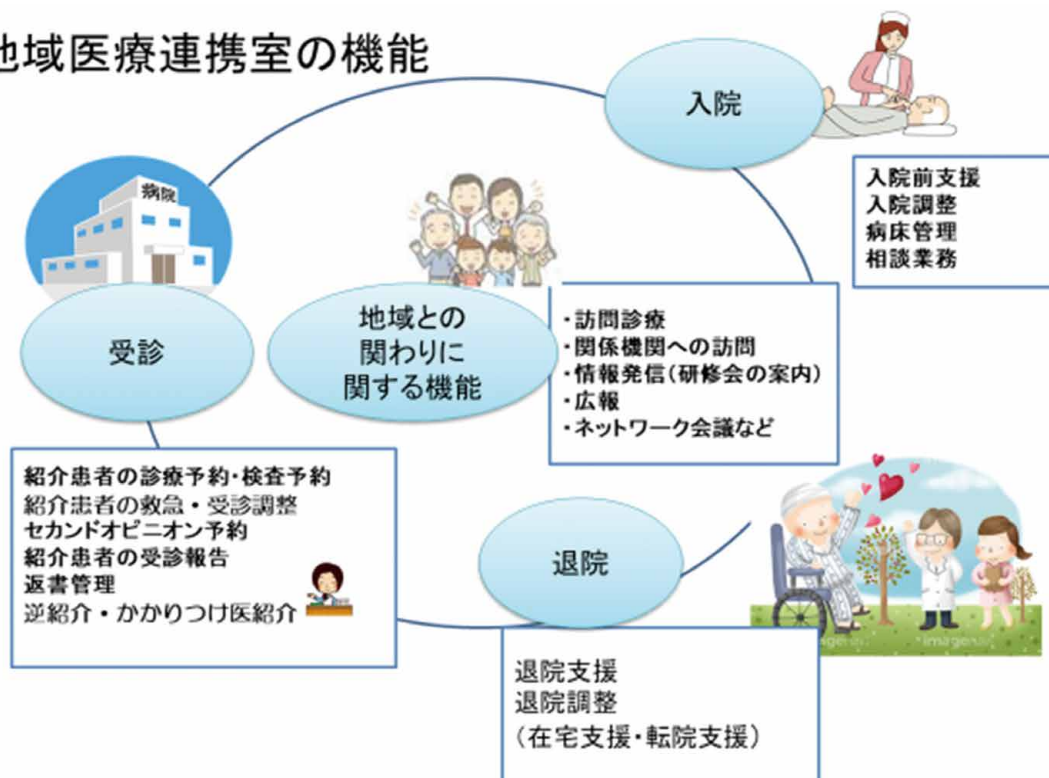
当院地域医療連携室職員は、藤原診療部長、経営企画室長、看護師長、看護師3名、MSW 3名、事務員2名です。

それでは以下に地域医療連携室の職員がどんな仕事をしているかご紹介をさせていただきます。

業務内容

- 電話・FAXによる紹介・検査予約
 - 紹介患者さんの各診療科へのご案内
 - 電子カルテの診療枠管理
 - 受診後の報告書の作成
 - 他院へ紹介、転院調整
 - セカンドオピニオンの受診相談
 - 開放病床の利用相談
 - 病院訪問・出張講演の実施
 - 地域医療支援病院運営委員会の開催
 - 在宅療養後方支援病院の受入れ相談
- その他、院内外からの問い合わせ等様々な相談の電話対応も行っています。

地域医療連携室の機能



看護師の業務内容

主には慢性病棟の病床管理と入退院支援に関わっております。

一般病棟では入院する患者さんへの入院前支援や在宅復帰をされる患者さんの退院支援を退院支援看護師、MSWと共に行っています。退院後の生活を見据えた視点で支援を行い、退院後の在宅訪問や生活状況の聞き取りを行いスムーズに退院が出来るようケアマネジャーや訪問看護師等との連携を行っています。

また、慢性病棟では重症心身障害児者の短期入所の受け入れ、神経・筋疾患患者のレスパイト入院（広島県・山口県の在宅難病患者一時入院事業として医療依存度の高い患者さんのレスパイト入院の支援）、長期入院の受け入れ調整を行っています。

難病の患者さんは、病気のこと、生活のこと、様々な不安・心配事を抱えていることがあります。このような在宅の難病患者さんの不安・心配事を少しでも解消し安心して療養してもらうため、定期的な難病電話相談を行っています。病気について聞きたいこと、治療や薬について知りたいこと、リハビリの方法や生活での工夫、社会資源の利用方法など、脳神経内科医師、看護師、理学療法士、薬剤師などがお答えします。HPでもご相談を受け付けていますので、ぜひお気軽にご利用ください。



MSWの業務内容

患者さん、家族の方が安心して医療が受けられるように、疾病等に伴い生じる様々な困りごとについて相談をお伺いしています。

例えば、退院後の療養先について、自宅での生活、年金や身体障害者手帳、介護保険などの社会福祉制度について、医療費や生活費などの相談について状況に応じた支援を行っています。

退院支援では、退院後の生活に不安がないように、院内のスタッフとの連携に加え、地域の医療・介護関係者の方とも連携し、ご自宅への退院や施設入所、転院先の相談など退院後の療養生活がよりよく送れるようにするための提案や支援を行っています。

また、医事課と地域医療連携室内には患者相談窓口を設置しており外来、入院患者さんや家族の方が相談に来ていただける体制をとっております。



今後とも患者さん、地域の医療関係者の方々、院内の職員から信頼され頼られる地域医療連携室となるようスタッフ一同頑張っていきたいと思っております。

スタッフ一同

電子カルテの更新

経営企画室長 佐藤 匠

1. はじめに

当院では、10月1日(土)に電子カルテをはじめとする医療情報システムが更新されました。

医療情報システムの更新は今回が2回目(今回は2015年)です。数年ごとに更新されますが、前回と異なるのはベンダーが変更になる点です。具体的には富士通JAPAN(株)から(株)ソフトウェア・サービスへ変更となり、そのためハード面とソフト面の両方を切り替えていく作業になります。

なお、この文書を書いているのは9月中旬でシステムの更新作業が佳境に入っている頃ですが、ここまでの医療情報システムの更新について述べさせていただきます。

2. 電子カルテについて

医療情報システムの中で電子カルテは中心的なもので各部門システムと結びついています。電子カルテは、医師の記録、看護記録、処方箋の発行、各種検査の指示や記録のほか、他院への紹介状などの文書管理や会計情報などの多種多様な情報を統合するものです。

電子カルテのメリットのひとつに効率性が挙げられ、診療情報の共有や検索、閲覧のしやすさはもちろん、情報を集計すれば経営にも活かせます。また、情報の保護も強固で、権限設定により閲覧者を制限できます。最近ではマイナンバーカードによる健康保険証の確認(オンライン資格確認)もできるようになり、将来的にはいろいろなサービスと結びつけることができます。

デメリットは、コンピューターウイルスなどのリスク、停電時の機能停止があります。

しかし、医療を安全・確実に提供するために外部ネットワークとは遮断されており、データの出力も制限をかけています。停電時には自家発電機が作動し安全で安定した業務継続を可能としています。

先ほど「ベンダーの変更」と申し上げましたが、以前職員から「ベンダー」とは何かと聞かれたことがあります。

ベンダーとは「商品やサービスの販売会社、売り手」ということのようにです。平たく言えば、医療情報システムの購入先(販売会社)が更新を機に変更されるということですが、単に電子カルテのメーカー(機器の製造者)が変わったということだけでなく、そこには多くの医療機器があり、それらを結びつける方法や運用の考え方がさらに改善され、総合的に患者さんへのサービスが向上するという意味も含まれているのではないかと思っています。

3. 稼働まで

私が当院に赴任したのは今年の4月です。ベンダーは既に決まっており、キックオフミーティングから始まり5月にはソフトウェア・サービスのスタッフが院内に常駐し、システムの設計、職員との打ち合わせなど10月1日の稼働に向けて多くの業務が本格的になります。

部門ごとのワーキング・グループを立ち上げ、何度もソフトウェア・サービススタッフと各ワーキング・グループが打ち合わせを行って行く中で、新しいシステムへの変更対応だけでなく、従前の運用方法が今の患者サービスや病院運営に適しているのかという視点からも議論されました。意見の相違や今回の更新でできること、できないことなど多くの課題が出てきます。

8月には新しい電子カルテ端末の事前配布があり、操作説明会が職員に実施されました。

9月に入ると入院リハーサル、外来リハーサルを複数回実施し、本番に近い環境での確認作業を行いました。私も模擬患者として参加させていただきましたが、実際に人や機械が動くことで議論では見えなかった問題点を洗い出すことができました。

そして、今回の更新で実感したことは、社会情勢が当院のシステム稼働に大きく影響しているというこ

とです。ひとつはコロナ禍、ウクライナ情勢そして円安によるサプライチェーンの不確実性、もうひとつは新型コロナウイルス拡大の第7波です。

サプライチェーンという言葉は今までの生活に縁遠いものでしたが、この度多くの機器を更新するにあたり、指定する品目や数量が期限までに納入されない可能性があり、その度にソフトウェア・サービスの担当者に東奔西走の対応をしていただきました。幸いにも物品面では10月1日の稼働に間に合う見込みです。

また、8月は新型コロナ第7波により当院職員やソフトウェア・サービス常駐スタッフにも直接・間接的に影響があり、準備に遅れが出た部分もあり、人的な面から期限までに間に合うのかという不安があります。この記事を書いている時点では新型コロナの患者数も減少し落ち着きつつありますが、稼働間近の今、感染管理には細心の注意を払っていかねばならないところです。

様々な調整が必要となる中で当院職員にはご不便をお掛けしたこと、また多くのご協力や助言をいただきこの場をお借りして感謝申し上げます。また、稼働までの準備に関して不慣れな中、多くの注文に対応していただいたソフトウェア・サービスのスタッフの方にも感謝申し上げます。

4. 最後に

今回の医療情報システム更新では、慣れないシステムに時間を要したり今までと異なる運用となり皆様にはご不便をお掛けするかもしれませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

電子カルテは非常に高額で億単位の支出が必要となる一方で、導入・更新したから収入が増えるということではありません。しかし、「脱皮しない蛇は滅びる」ということばにもあるように、単に機器やシステムが新しくなったのではなく、更なる業務の効率化や医療安全の徹底を進めて行き、患者さんへのより良い医療サービスの提供の支えとなるように、また病院運営にも良い影響が出るように今まで以上にシステムを活用していきたいと思っています。



電子カルテ操作説明会の様子



外来リハーサルの様子①



外来リハーサルの様子②



入院リハーサルの様子

やまと病院で「新型コロナウイルス感染症対策」のラウンドを実施して

感染管理認定看護師 林 谷 記 子



7月20日(水)に医療法人社団親和会やまと病院から、新型コロナウイルス感染症対策の一環として感染拡大防止策や感染リスクの実際、

また院内感染防止対策マニュアルについて、確認を行ってほしいと依頼がありました。大竹市でも療養介護施設や病院でコロナクラスターが発生し、地域でコロナ対策に取り組む必要があります。感染管理認定看護師の果たすべき役割として、地域全体のコロナ対策の水準を向上させていくために病棟のラウンドを行いました。

やまと病院は地域の療養病院として病床50床を持ち、通所リハビリや居宅介護支援事業をされ、当院からも患者さんが転院しています。

今回、感染対策担当者に聞き取りや現場の確認を行いました。コロナ発生時のマニュアルの作成、毎日の検温・風邪症状観察をおこない職員による持ち込み対策に取り組まれていました。また、休憩室は仕切りを配置し「黙食」の決まりはありましたが、一部出来ていないこともあると話を聞き、職員の皆さんに「休憩室でのマスクなしでの会話はしないこと」の再度徹底をお願いしました。入院患者にコロナが発生した場合のゾーニングが計画され、病室もすばやく対応ができるよう設置されていました。また、サニタリー室やナースステーションは狭いながらも物品の工夫やゴミの分別もされており大きな問題はありませんでした。しかし、一部清潔不潔の区別が難しいところがあり、ワゴンについて上段と下段で区別を行うようアドバイスしました。

7月から面会禁止を緩和されていましたが、広島県は急激にコロナ患者が増加しているため、一旦面会禁止の検討が必要ではないかと提案しました。



ラウンド確認の様子

感染対策担当者は一生懸命取り組まれ、病棟の中心となり活動されていました。感染管理認定看護師が評価することで、病院全体で取り組むことができるよう力になりたいと思い、いつでも相談してもらっても良いことを伝えました。

今後も新型コロナウイルスによるクラスターは施設や病院で起こることが想定され、ハイリスク施設においては感染拡大防止が重要となります。感染管理認定看護師として地域で連携して情報を共有し、支援していきたいと思っています。



マニュアル確認の様子

ひこばえ通信 Vol.8 「燕のこと」

統括診療部長 浅野耕助

暑かった夏もいつの間にか過ぎ去り、どこからともなく聞こえる虫の音が、秋の深まりを感じさせる時節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。前回のひこばえ通信では市街地でもちょっとした緑と川の流れがあれば、いろいろな野鳥を身近に見ることができることをお話ししました。街中で身近な鳥と言えば、もちろん“スズメ”と“カラス”ですが、毎年五月晴れの頃南方から飛来して民家の軒に巣を造り、その子育てや巣立ちの場面まで目にする事ができる“ツバメ”も身近で馴染み深い野鳥と言えるのではないのでしょうか。誰に教わるでもなく数千キロを旅してきて、毎年同じ場所に自力で巣を構え産卵・子育てする様は、健気で感慨深いものです。その年巣立った若鳥ははじめのうち長く飛べないので、よく病院の自室の窓の庇に留まって羽根を休めています。秋に親鳥と一緒に初めての長旅をして南方へ渡ることを思って、「来年も元気で帰って来いよ」とつい声をかけてしまいます。



ツバメ



燕の巣スープ

さて、食い意地の張った私のことです。タイトルのように燕と言えば“燕の巣”ですね。とは言ってもこれまで一度も食したことはございません。ふかひれや干しあわびと並んで中華料理の高級食材として有名ですが、じつはこの燕、厳密にはツバメではないのです。身近なツバメは鳥類の分類上スズメ目ツバメ科に属しますが、燕の巣を提供してくれるツバメはアマツバメ目アマツバメ科に属するジャワアナツバメといい、ヨタカやハチドリに近縁でツバメとは似て非なる鳥なのだそうです。余談ですが鳥の飛翔での最高速は、急降下中

のハヤブサで時速300キロメートルになりますが、水平飛行での最高速はこのアマツバメの仲間で、なんと時速150キロメートル以上がでるそうです。海岸の断崖絶壁に作られる巣を採取するのは非常に危険が伴う作業ですが、近年タイの産地では断崖に似せた鉄筋コンクリートのビルを建造してアナツバメを誘致して巣を採取しているそうです。外敵に襲われにくい環境で、人間もたくさん巣が採れてWin-Winということですね。もちろん巣はひなが巣立って放棄されたものを採取するので、ご安心を。

ではまた次回もお楽しみに！



燕の巣ビル



患者図書室から



人気テーマは

「心」・「食事」・「介護」

「読書の秋」、到来！

患者図書室も「自分や家族の病気について調べたい」、「気晴らしをしたい」など、さまざまな目的で利用されています。

特に人気があるテーマは、「心」、「食事」、「介護」。それぞれ貸出の多い本を、ご紹介します。秋の夜長に、ぜひどうぞ。



「心」

- がんばりすぎない お仕事復帰 BOOK**
(藤井 佐和子・mamari 監修/KADOKAWA)
産休・育休中の不安がスーッと解消される
- 精神科医が教える ストレスフリー 超大全**
(榊沢 紫苑/ダイヤモンド社)
人生のあらゆる「悩み・不安・疲れ」をなくすためのリスト



なぜ私は 怒れないのだろう

(安藤 俊介/産業編集センター)
アンガーマネジメントの専門家が教える、自分らしく生きるための「正しい怒り方」

「食事」

- NHKテキスト きょうの料理**
(NHK出版)
NHK「きょうの料理」のテキスト。今夜のごはんに迷ったら、ぜひ♪
- 専門医が教える 肝臓から脂肪を落とす食事術**
(尾形 哲/KADOKAWA)
予約の取れないスマート外来のメソッド
- 体がバテない 食薬習慣**
(大久保 愛/ディスカヴァー・トゥエンティワン)
1週間に1つずつ 今週食べるものがわかる



「介護」

- 認知症家族に寄り添う 介護しやすい 家づくり**
(堀越 智 編著 山崎 努・川野 美智子・壁 恵一/日刊工業新聞社)
みんなが心地よく過ごせる間取りとリフォームのヒント
- プロの調査員が教える！ 介護事業所・施設の選び方が本当にわかる本**
(福岡 浩/自由国民社)
重要事項説明書・契約書・実地見学まで チェックポイントがよくわかる！



百葉箱や鳥の巣箱に似ています

返却本ポスト

1階売店前のイトインに設置した返却ボックスをご利用いただき有難うございます。
おかけさまで、返却遅延がめっきり少なくなりました。
今後も患者図書室の休館日、または開館前・閉館後の、ご返却に、ぜひご利用ください。

開館時間 月・火・水・金 10時～15時
木曜日 10時～14時

2022年8月より、**木曜日は14時に閉館**
(14時以降は、慢性病棟の患者さんへ貸し切り対応)

土日・祝日・年末年始・**第2月曜日は休館**
※第2月曜日が祝日の場合は、**第4月曜日**が休館となります
場 所 正面玄関から入って直進 70m 先



* がん治療中の食事について *

がんにおける主な治療は「手術・抗がん剤治療・放射線治療」です。

いずれの治療も心身ともに侵襲の大きな治療になります。

その中でも抗がん剤治療は、全身治療になるため、嘔気・嘔吐、味覚障害、口内炎等の副作用により、ご本人だけでなくご家族にとっても食事のことが悩みになることがあります。

思うように食べられない時は、「食べやすいもの、好きなもの」を食べましょう。

しかし症状が落ち着いてきたら、いつもの食事（バランスのよい食事）へギアチェンジすることが大切です!!

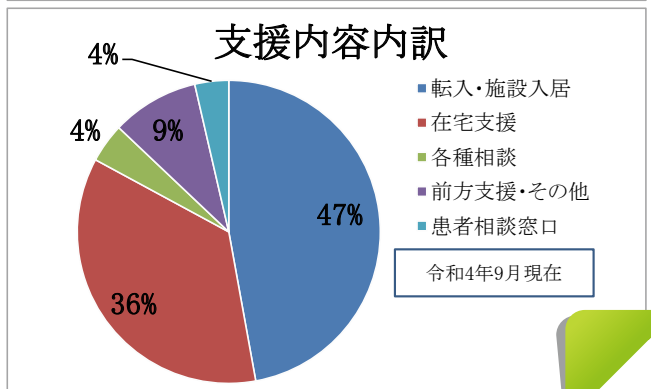
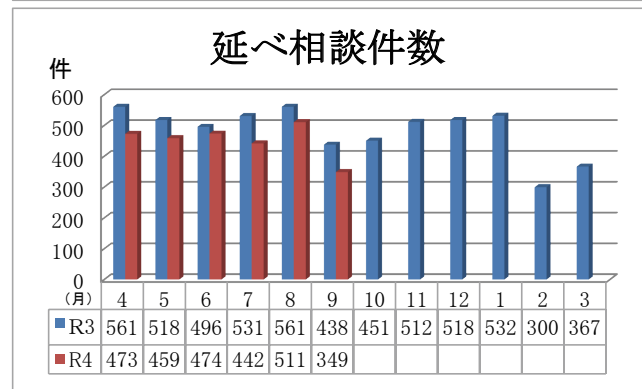
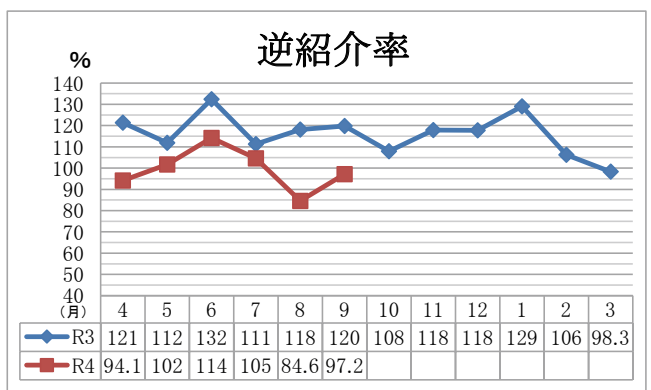
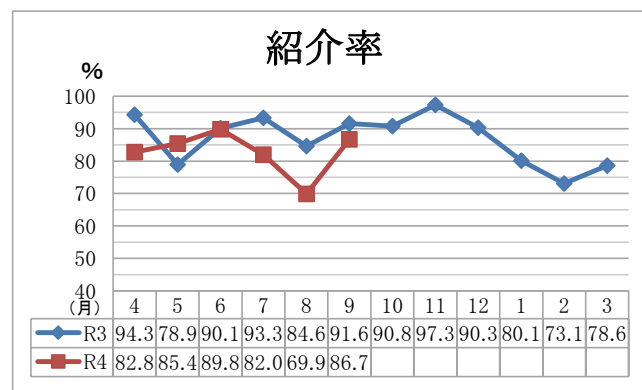
- ◎**嘔気・嘔吐がある方**…冷たいもの、酸味のあるもの、水分の多いもの、ソースやカレー等の香辛料のきいた味、比較的しっかりした味のものがオススメ
- ◎**味覚障害がある方**…果物のような素材そのもの、水分の多いものやのど越しのよいもの、酸味のあるもの、洋食系（ソース・ケチャップ等）がオススメ
- ◎**口内炎がある方**…常温に近い温度がオススメ、薄味の方が刺激にならない、噛むことでの刺激をなくすため、小さく切る、あん・ソースをかけるのもオススメ

個人により好みや症状により異なります。

当院にはがん病態栄養専門管理栄養士が在籍していますので、お気軽にご相談ください。

参照：四国がんセンター「お食事でお悩みのあなたへ」

地域医療連携室実績報告



外来診療担当医表

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>

広島西医療センター

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

…前号からの変更箇所

令和4年10月1日現在

		月	火	水	木	金	備考	
総合診療科	初診	生田 卓也	脇本 旭	脇本 旭	生田 卓也/脇本 旭	生田 卓也	下記の専門領域以外の新患	
	再診	脇本 旭	生田 卓也	生田 卓也	脇本 旭/生田 卓也	脇本 旭		
内科	1診	呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)	下村壮司(血液)	広大(呼吸器)	広大(血液)	再診外来予約制
	2診	消化管/肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	藤堂祐子(消化管)	
	3診	内分泌代謝/糖尿病	/	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	/	
	4診	血液	広大	角野 萌	/	黒田 芳明	新患担当医(血液)	
	5診	循環器	藤原 仁	広大	藤原 仁	/	藤原 仁	
	6診	腎臓/血液	黒田芳明(血液)	平塩秀磨(腎臓)	/	谷 浩樹(腎臓)	平塩秀磨(腎臓)	
脳神経内科	1診	鳥居 剛	黒田 龍	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制	
	2診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	渡邊千種(物忘れ) (第2・4・5)	黒田 龍	檜垣 雅裕 (頭痛)	黒田 龍	予約制 PM	
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM	
禁煙外来		/	担当医	/	/	/	14時~16時 予約制	
小児科	一般外来	広大	/	/	/	/		
	専門外来	/	/	/	広大・(予防接種)	/	受付13時~16時 予防接種は13時~14時(予約制)	
小児科	小児筋ジストロフィー	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	古川 年宏	予約制	
	重症心身障害	河原信彦・熊田寛子	河原信彦・熊田寛子	河原信彦・熊田寛子	河原信彦・熊田寛子	河原信彦・熊田寛子		
	発達外来	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
	小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範		
神経外来		/	/	/	/	石川暢恒(第3)		
補装具		/	/	/	/	木村(第2・4)	予約制	
外科	初診	石崎 康代	新患担当	嶋谷 邦彦	米神 裕介	嶋谷/石崎/米神	金曜日交代制	
	再診	嶋谷 邦彦	米神 裕介	石崎 康代	平田 嘉人			
整形外科	初診	中條 太郎	五月女 洋介	永田 義彦	/	根木 宏	木曜日手術日	
	再診	根木 宏	永田 義彦	根木 宏	/	永田 義彦	月曜日()手術	
	再診	(永田義彦/五月女洋介)	中條太郎/(根木 宏)	五月女洋介/(中條太郎)	/	中條太郎/(五月女洋介)		
形成外科		/	藤高 淳平	/	藤高 淳平	藤高 淳平		
泌尿器科	1診	安本 博晃	宮本俊輔/田坂 亮	安本 博晃	小島 浩平	安本 博晃	火曜日手術日	
	2診	渡邊 衛介	浅野 耕助	浅野 耕助	/	浅野 耕助	木曜日手術日	
産婦人科		新甲 靖	/	/	新甲 靖	/	予約制	
皮膚科		水野 麻紀	水野 麻紀	/	水野 麻紀	水野 麻紀	水曜日手術日	
眼科		広大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日	

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140) FAX (0827)57-7701